

1. 地域産業資源活用事業の促進に関する基本的な方針

(1) 地域産業資源活用事業を促進する意義

本県の県内総生産（名目）は3兆5900億円であり、産業別にみると、サービス業、製造業、卸売・小売業が上位を占めている。

製造品出荷額については、ここ数年1兆3,000億円前後で推移しており、食料品・飲料・たばこが約30%を占めるなど生活関連型産業の割合が高くなっている。

事業所の規模を見ると、約99.9%を中小企業が占めており、県内産業の活性化や経済の発展に大きく貢献している。

しかし、中央では景気回復がささやかれる中、本県のような地方経済は依然として厳しく、地域中小企業の回復は弱々しいものとなっている。

今後は、こうした地域の経済を本格的な回復基調に乗せるべく、地域の強み（地域産業資源）を活かした競争力と活力ある産業の形成を目指し、地域産業資源のブランド化、新産業・新事業の創出を促進していく必要がある。

(2) 地域産業資源活用事業の促進に当たっての基本的な方向

本県においては、農産物ではピーマンやきゅうり等、畜産物ではブロイラー、豚、肉用牛等が全国有数の生産量や飼育数を誇り、果樹では、ここ数年で完熟マンゴー「太陽のタマゴ」が大都市圏で高級フルーツとして人気を博している。

また、林業では、杉の素材生産量が、平成3年から連続して全国第1位となっている。漁業でも、総延長約400Kmの長い海岸線の沿岸海域に、イワシ、アジ、サバの好漁場が形成されている。

これらの豊富な農林水産資源を支えているのが、温暖な気候と長い日照時間であり、平均気温、日照時間共に全国第3位ということに裏付けられる。

農林水産資源に加えて、県内全域に木工、竹製品、陶芸、染織物、武道具などの伝統工芸品の事業所が点在しており、また、森林セラピー基地や美しい景観と全国有数の波を誇る日南海岸、青島、鬼の洗濯板、神話や伝説のゆかりの地などの観光資源といった特色のある地域産業資源が存在する。

本県の産業を支える中小企業は、伝統的に上記の地域産業資源を活用した経済活動を行っており、中小企業のやる気に弾みをつけ、これら地域産業資源を有効活用して創意工夫の精神で新たな需要の開拓に取り組む中小企業を強力に後押しできるよう、引き続き地域産業資源の掘り起こしや磨き上げが重要である。

さらに、地域産業資源を活用した取り組みの持続的な発展のため、市町村を始めとする各地域の関係団体と連携し、地域産業資源に関する情報ネットワークの構築を図っていかねばならない。

2. 地域産業資源の内容

本県において、地域産業資源を活用した中小企業による事業を促進する意義があると考えられる資源は以下のとおりである。

これらの地域産業資源は、「中小企業による地域産業資源を活用した事業活動の促進に関する法律（平成19年法律第39号）」第4条及び「地域産業資源活用促進事業の促進に関する基本方針」に基づいて指定している。

【指定要件】

自然的・経済的・社会的条件からみて一体である地域（以下単に「地域」という。）に存在する農林水産品、鉱工業品及びそれを生産する技術、観光資源

地域の中小企業者が現にあるいは潜在的に活用可能であり、その活用を促進することで当該地域産業資源を共有する他の中小企業者の事業活動や当該事業と密接に関連する事業活動を促進する可能性が高いものであること。

当該地域産業資源が、他地域の同種の地域産業資源と比べて、生産量、品質、機能、歴史的・文化的背景等の面で顕著な特徴を有しており、それによって消費者等に相当程度認識されているものであること。

(1) 農林水産物

名称	地域産業資源に係る地域
牛肉	県全域
豚肉	県全域
鶏肉	県全域
鶏卵	県全域
牛乳	県全域
きゅうり	県全域
ピーマン	県全域
にら	県全域
トマト	県全域
ミニトマト	県全域
ごぼう	県全域
にんじん	県全域
レタス	県全域
なす	県全域
オクラ	県全域
かんしょ	県全域
アスパラガス	県全域
たまねぎ	県全域
黒皮かぼちゃ	県全域
京いも	県全域
洋種かぼちゃ	県全域
スイートコーン	県全域
だいこん	県全域
ゴーヤー	県全域
シシトウ	県全域

ズッキーニ	県全域
キャベツ	県全域
ほうれんそう	県全域
深ねぎ	県全域
葉ねぎ	県全域
さといも	県全域
じゃがいも	県全域
しょうが	県全域
はくさい	県全域
らっきょう	県全域
いちご	県全域
マンゴー	県全域
きんかん	県全域
日向夏	県全域
極早生みかん	県全域
ぼんかん	県全域
ぶどう	県全域
ブルーベリー	県全域
メロン	県全域
うめ	県全域
くり	県全域
ゆず	県全域
へべす	県全域
スイートピー	県全域
茶	県全域
米	県全域
小清水栽培米	高原町
しいたけ	県全域
スギ	県全域
カツオ	県全域
マグロ	県全域
タイ	県全域
カンパチ	県全域
シイラ	県全域
トビウオ	県全域
イセエビ	県全域
アジ	県全域
イワシ	県全域
ブリ	県全域
ヒラメ	県全域
オオニベ	県全域
アユ	県全域
ウナギ	県全域

ヤマメ	県全域
ウツボ	県全域
カサゴ	県全域
カワハギ	県全域
キビナゴ	県全域
クエ	県全域
サバ	県全域
サワラ	県全域
タチウオ	県全域
ハモ	県全域
フグ	県全域
メヒカリ	県全域
チョウザメ	県全域
ニジマス	県全域
イカ	県全域
タコ	県全域
エビ	県全域
カニ	県全域
アワビ	県全域
カキ	県全域
サザエ	県全域
ハマグリ	県全域
ウニ	県全域
ナマコ	県全域
ホヤ	延岡市、日向市、門川町
カギイバラノリ	県全域
キリンサイ	県全域
テングサ	県全域
トサカノリ	県全域
ヒジキ	県全域
フクロフノリ	県全域
フサノリ	県全域
ムカデノリ	県全域
ワカメ	県全域

(2) 鋳工業品又は鋳工業品の生産に係る技術

名称	地域産業資源に係る地域
どぶろく	国富町、綾町 三股町
漬物	県全域
宮崎かつお うみっこ 節	日南市
ちりめんじゃこ(シラ	県全域

ス干し)	
茶	県全域
宮崎の焼酎	県全域
シラス(白砂)	県全域
S P G	県全域
ヒノキ製品	県全域
宮崎ロクロ工芸品	宮崎市、都城市、綾町
小松原焼	宮崎市
宮崎漆器	宮崎市
宮崎手紬	宮崎市、綾町
日向榎碁盤・将棋盤	宮崎市、都城市、小林市、綾町
ひむかの矢・久宗の矢	宮崎市
都城大弓	都城市、三股町
都城木刀	都城市
さつま緋	都城市
のぼり猿	延岡市
紅溪石硯	延岡市
四半的矢	宮崎市
小林籐工芸品	小林市
日向はまぐり碁石	日向市
佐土原人形	宮崎市
神代独楽	宮崎市
久峰うずら車	宮崎市
法華岳うずら車	国富町
日向竹刀	綾町
めんぱ	日之影町、諸塚村
高千穂神楽面	高千穂町、日之影町
かるい	高千穂町、日之影町
竹工芸品	県全域
宮崎手漉和紙	日向市
日向剣道防具	都城市 西都市
日向工芸家具「漆塗」	日南市
大漁旗	延岡市
ごったん	三股町
魔よけ猿	五ヶ瀬町
本場大島紬	都城市

(3) 文化財、自然の風景地、温泉その他の地域の観光資源

名称	地域産業資源に係る地域
一ツ葉海岸のサーフポイント	宮崎市

青島海岸のサーフポイント	宮崎市
木崎浜のサーフポイント	宮崎市
伊勢ヶ浜のサーフポイント	日向市
お倉ヶ浜のサーフポイント	日向市
金ヶ浜のサーフポイント	日向市
梅ヶ浜のサーフポイント	日南市
恋ヶ浦のサーフポイント	串間市
蚊口浜のサーフポイント	高鍋町
伊倉ヶ浜のサーフポイント	川南町
島の浦のダイビングスポット	延岡市
大島のダイビングスポット	南郷町
栄松のダイビングスポット	南郷町
日豊海岸国定公園	延岡市、日向市、門川町
日南海岸国定公園	宮崎市、日南市、串間市、南郷町
日南海岸きらめきライン（日本風景街道）	宮崎市、日南市、串間市、北郷町、南郷町
高千穂峡	高千穂町
綾町の森林セラピー基地	綾町
日之影町の森林セラピー基地	日之影町
ひむか神話街道	宮崎市、都城市、日南市、西都市、北郷町、高原町、椎葉村、美郷町、高千穂町、五ヶ瀬町
照葉樹林	県全域
青島	宮崎市
下阿蘇海水浴場	延岡市
須美江海水浴場	延岡市
富士海水浴場	日南市
大堂津海水浴場	日南市
伊勢ヶ浜海水浴場	日向市
高鍋海水浴場	高鍋町

青島温泉	宮崎市
たまゆらの湯	宮崎市
京町温泉	えびの市
えびの高原温泉	えびの市
吉田温泉	えびの市
白鳥温泉	えびの市
北郷温泉	北郷町
高原温泉郷	高原町
母智丘公園	都城市
高千穂峰	都城市、高原町
御池野鳥の森	都城市、高原町
山之口の文弥人形	都城市
今町一里塚	都城市
関之尾の甌穴	都城市
熊襲踊	都城市
延岡城址城山公園	延岡市
鮎やな	延岡市
堀川運河	日南市
堀川運河周辺の歴史的建築物	日南市
飫肥城及び飫肥城下町	日南市
馬ヶ背・日向岬（クルスの海）	日向市
西都原古墳群	西都市
えびの高原	えびの市
法華嶽公園	国富町
手づくり工芸の里	綾町
カリコボーズの里	西米良村
都農ワイナリー	都農町
夕日の里	五ヶ瀬町
祇園山	五ヶ瀬町
五ヶ瀬ハイランドスキー場	五ヶ瀬町
五ヶ瀬ワイナリー	五ヶ瀬町
むかばきの滝	延岡市
関之尾滝	都城市
矢研の滝	都農町
真名井の滝	高千穂町
坂元棚田	日南市
真幸棚田	えびの市
向江棚田	西米良村
春の平棚田	西米良村
栃又の棚田	高千穂町

尾戸の口（神々の里）	高千穂町
徳別当の棚田	高千穂町
石垣の村の棚田	日之影町
鳥の巣の棚田	五ヶ瀬町
下の原の棚田	五ヶ瀬町
日陰の棚田	五ヶ瀬町
みやざきフラワーフェスタ	県全域
宮崎県総合運動公園	宮崎市
生目の杜運動公園	宮崎市
国際海浜エントランスプラザ	宮崎市
高城運動公園	都城市
西階総合運動公園	延岡市
天福球場	日南市
日南市総合運動公園	日南市
小林総合運動公園	小林市
お倉ヶ浜総合運動公園	日向市
西都原運動公園	西都市
清水台総合公園	西都市
南郷中央公園	南郷町
錦原運動公園	綾町
てるは文化公園	綾町
J R日向市駅	日向市
若山牧水の生家	日向市
安井息軒旧宅	清武町
田の神さあ	宮崎市、都城市、小林市、えびの市、三股町、高原町、野尻町、国富町、綾町
宮崎県庁舎	県全域
いちご園	県全域
ぶどう園	県全域
ブルーベリー園	県全域
くり園	県全域
宮崎の焼酎醸造所	県全域
宮崎ロクロ工芸品製作所	宮崎市、都城市、綾町
小松原焼工房	宮崎市
宮崎漆器製作所	宮崎市
宮崎手紬工房	宮崎市、綾町
日向榧碁盤・将棋盤製作所	宮崎市、都城市、小林市、綾町
ひむかの矢・久宗の矢製作所	宮崎市

都城大弓製作所	都城市、三股町
都城木刀製作所	都城市
さつま絣工場	都城市
のぼり猿製作所	延岡市
紅溪石硯工房	延岡市
四半的矢製作所	宮崎市
小林籐工芸品工房	小林市
日向はまぐり碁石製作所	日向市
佐土原人形工房	宮崎市
神代独楽工房	宮崎市
久峰うずら車工房	宮崎市
法華岳うずら車工房	国富町
日向竹刀製作所	綾町
めんぱ工房	日之影町、諸塚村
高千穂神楽面工房	高千穂町、日之影町
かるい工房	高千穂町、日之影町
竹工芸品製作所	県全域
宮崎手漉和紙製作所	日向市
日向剣道防具製作所	都城市
	西都市
日向工芸家具「漆塗」製作所	日南市
大漁旗製作所	延岡市
ごったん工房	三股町
魔よけ猿工房	五ヶ瀬町
本場大島紬工場	都城市

3. 地域産業資源を用いて行う地域産業資源活用事業を促進することにより当該地域産業資源に係る地域の経済の活性化を推進する方策

厳しさを増す地域間競争に勝ち抜いていくためには、本県が持つ個性や魅力を磨き上げ、国内外に発信していくことが必要である。

このため、本県の豊富な農林水産資源を生かした「みやざきブランド」向上のためのプロモーション活動の強化やものづくり振興により経済の拡大を図っていく。

「みやざきブランド」の総合プロモーションとして、「みやざきブランド」の向上及び情報発信強化や大都市、東アジアなどへの販路開拓、大規模経営に挑戦する生産者や一次産業参入者への支援拡大を図る。

ものづくり振興の一環として、県内企業の新技術、新製品等の発掘、研究開発及び販路開拓を支援する。

さらに、観光推進策として、マリンスポーツの観光化や森林の癒し機能を生かした新たな産業の展開等による宮崎ならではの観光資源の掘り起こし・磨き上げを推進していく。

(1) 個別地域産業資源に関する施策

「みやざきブランド」向上プロモーション強化事業

「みやざき」で支持される消費者の信頼を勝ち取るため、農水産物総合ブランド戦略の構築、全国への情報発信対策の強化、本県農水産物の海外輸出促進等により、みやざきブランド対策を推進する。

みやざき特産品PR展開支援事業

県内で特産品を製造・販売する業界・団体が一体となって取り組む販路開拓の取組みに対し助成を行うことにより、本県地場産品のPR及び販路拡大を図る。

販路拡大支援プロジェクト事業

宮崎県物産振興センターを核として、商談会や物産展の開催、新商品の開発支援、新宿みやざき館等を活用した情報の受発信等の事業を積極的に展開し、県産品の販路拡大を図る。

売れるみやざき県産品開発支援強化事業

県産品を製造・販売する県内企業や団体等に対して、流通企業バイヤー等による商品の評価・指導及びデザインに関する指導等を行い、宮崎らしい売れる県産品づくりを推進する。

県産品戦略的マーケティング事業

マーケティング分野に専門性を有する大学等の調査機関に委託し、民間企業等のアイデア等も採り入れながら、現状分析や今後の県産品販路拡大施策のあり方についての提言まで含めた報告書の作成を行い、今後の施策に反映する。

木質バイオマス活用促進事業

木質バイオマスの有効活用を図るために必要な施設整備に対し助成するとともに、木質バイオマスの活用に対する普及啓発を行う。

リード21木材加工・流通システム構築モデル事業

耳川木材加工団地内の原木市場、製材・加工工場間の連携を強化し、原木の安定供給から製材品等の生産・販売に至るモデル的な取組を支援する。

力強い宮崎スギ県外出荷体制づくり事業

県産スギ人工乾燥材の大口需要先への販路開拓、品質・性能の明確な製品の定時・定量供給等に的確に対応した輸送体制の強化等の県外出荷体制づくりを総合的に推進する。

宮崎スギ高品質材の家づくり促進事業

木材産業界と住宅産業界が緊密に連携して行う高品質な県産材住宅づくりへの取組を支援することにより、県産材の需要拡大を図る。

みやざき材海外輸出拡大推進事業

輸出意欲が高く高度な加工技術を有する団体が取り組む輸出促進活動を支援するとともに、木造建築技術に係る技術的な課題に対応するための環境整備を進め、県産材の輸出の拡大を図る。

「宮崎の乾しいたけ」ブランド強化対策事業

乾しいたけの産地表示の適正化を推進するとともに、選別技術の向上を図るため研修会を開催して、県産乾しいたけの価格の安定とブランドの強化を図る。

みやざき青果物安定取引強化事業

業務加工用実態把握に基づく取引先の開拓や量販店等と連携した新たな商品開発など青果物の安定取引に向けた取組みを支援する。

元気みやざき園芸産地確立事業

産地の核となる担い手を対象に、産地強化計画に基づく産地の構造改革の推進や消費者ニーズに対応した個性あふれる産地づくりを推進し、競争力のある産地確立を図る。

マンゴー王国産地確立事業

マンゴー王国としての産地確立に向けて、プロジェクトチームを編成し、本県独自の多収で高品質な安定生産技術の開発を行う。

魅力あるみやざきの果樹産地育成事業

果樹複合経営への転換促進とともに、消費者ニーズに即した高品質果実の安定生産、完熟マンゴーに続く宮崎ならではの新品目育成に取り組む、果樹生産農家の所得向上を図る。

みやざき茶プロジェクト2000事業

茶業組織活動への支援や産地拡大に向けた苗木の供給体制整備、組織の連携強化を進め、みやざき茶の銘柄確立と今後の生産拡大に対応した販売体制の確立を図る。

より良き宮崎牛づくり対策事業

本県肉用牛の生産から流通までの一貫生産の推進と消費拡大を促進するため、県民総参加による宮崎牛の銘柄確立を図り、農家の経営安定に資する。

宮崎ハマユウポーク生産・流通体制整備事業

宮崎ハマユウポークのより一層のブランド化を進めるため、優良種豚の導入を促進し、品質管理の強化等を行うとともに、生産者の顔の見える流通体制を構築し、より安全で安心な高品質豚肉の生産を図る。

「みやざき地頭鶏」ブランド対策事業

「みやざき地頭鶏」の生産拡大及びブランド化を推進するため、原種鶏舎の整備や普及販売活動の強化を図る。

酪農経営活性化事業

酪農経営の基盤の強化を図るとともに牛乳の消費拡大を図るため、需要期飲用推進や食育の啓発による県産牛乳の飲用を促進する。

おさかな消費拡大と流通対策事業

消費者ニーズに的確に対応した安全で安心して消費できる水産物ブランドづくりを進めるとともに、漁協等の販売方法の多様化や消費拡大の取組支援を通じ、漁業経営の安定を図る。

伝統的工芸品振興事業

県伝統的工芸品の指定及び県伝統工芸士の認定を行うほか、技術継承や販路拡大に意欲を有する伝統的工芸品製作者が実施する製作体験講座等への支援や他産地の先進事例研修会の開催などにより本県の歴史と風土に根ざした工芸品の振興を図る。

県産酒全国展開事業

宮崎県酒造組合が県外で取り組む県産酒のPR・販路拡大や県産酒ブランド確立のための事業に対して助成することにより、焼酎王国みやざきの確立を図る。

宮崎観光塾事業

地域が主体となった観光振興を担う人材の育成を行うことで、県と地域の協働による観光振興のより一層の推進を図る。

新「ふるさとツーリズムの国みやざき」づくり事業

豊かな自然や農林水産資源、温暖な気候、神楽、祭りなど、本県の豊富な地域資源を活用した体験交流観光「ふるさとツーリズム」を新しい本県観光の柱の一つとして推進する。

・元気、感動みやざき観光地づくり事業

近年の観光ニーズの変化や地域特性等を踏まえた観光戦略に基づき、地域固有の観光資源を活用した官民協働の取組みを数力所に絞って重点的に支援することにより、地域が主体となった元気な観光地づくりを推進する。

・マリンスポーツパラダイスみやざき推進事業

マリンスポーツを本県の観光資源として活用していくため、全県的に受入体制の充実を図り、快適なマリンスポーツ環境づくりを推進する。

(2) 関連する施策

本県においては、中小企業による地域産業資源を活用した事業を促進し、地域経済の活性化を図るため、以下の中小企業支援施策を実施する。

金融面での支援

中小企業の活性化、環境改善及び経営安定を図るため、必要な資金を円滑化する制度融資の活用により、金融面での支援に努める。

経営指導の強化

宮崎県産業支援財団に配置した企業経営や技術に詳しい専門家（コーディネーター等）、さらには商工会、商工会議所、商工会連合会に配置した経営指導員を活用して経営上の各種相談・助言を行う。

経営革新の促進

中小企業が競争力を強め成長を続けていくためには、市場の変化をいち早くつかみ、それに適合した新商品の開発や新サービスを提供することが重要であることから、地場企業の経営革新への取組みを支援する。

技術支援（産学官連携による研究開発支援）

製品の高付加価値化や消費者ニーズの多様化に対応する企業の新製品、新技術の開発を支援する。このため、宮崎県工業技術センターなどの県立試験研究機関、宮崎県産業支援財団、宮崎大学等が相互に連携しながら、研究開発から製品開発まで一貫した支援を行う。

中小企業のIT利活用の推進（情報化支援）

県内中小企業やIT企業等におけるIT人材の育成・確保を図るため、県内IT企業の在職者や就職希望者等を対象に実務に即したIT研修を実施する。

人材育成

県立産業技術専門校を活用して、企業ニーズに沿ったカリキュラムを編成する等の教育システムの改革を図ることにより、地場産業を支える優秀な人材の育成・確保を進める。

地場産業の総合支援

新商品の開発、積極的な市場開拓、人材育成により地場産業を振興する。また、全国や海外で通用するブランド化の確立をめざすとともに、産地を牽引する地場企業の育成を図る。

支援機関の機能強化

宮崎県工業技術センター及び宮崎県食品開発センターでは、意欲がある県内企業や食品加工グループ等のニーズに対応した研究開発や企業等への技術移転を積極的に推進し、事業化の支援を行う。

また、宮崎県産業支援財団では、専門家（コーディネーター等）が、地域資源を活用した事業化などの取組を積極的に支援する体制を整備する。

特許権等の活用支援

円滑な特許流通の拡大と普及を図るため、知的財産権とその流通に関する専門家である特許流通アドバイザーが、無料指導・相談及びPR活動を行う。

（3）地域産業資源の見直し

潜在的に存在している地域産業資源及び新技術の開発等を、中小企業者の新商品・新サービスの提供につなげていくため、本構想については、随時見直しを行う。